



TITLE:

星座唱歌

AUTHOR(S):

大庭, 濱子

CITATION:

大庭, 濱子. 星座唱歌. 天界 1921, 1(10): 195-195

ISSUE DATE:

1921-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159605>

RIGHT:

星座唱歌

横濱 大庭 濱子作

(一) 赤經〇時より六時まで

北極星にカシオペア

馭者、ペルセウス、アンドロメ

三角、牡羊、牛オリオン

魚座、鯨座、エリダヌス

兎座、鳩座、爐座 時計

彫刻室に彫刻具

美事になりし鳳凰座

(二) 赤經六時より十二時まで

麒麟、大熊、山猫座

小獅子、大獅子、蟹、双子

小犬、一角、大犬座

六分、コップ、海蛇座

排氣、羅針座、艦に帆座

(三) 赤經十二時より十八時まで

小熊、龍

(四)

赤經十八時より二十四時まで

セフェウス座

白鳥、琴座、小狐座

蜴蜥、ベガソス、鷲座には

矢、海豚、駒、楯、蛇めぐる

射手、山羊、瓶に顯微鏡

南冠、南魚

鶴、印度人、望遠鏡

黃道唱歌

大庭 濱子作

牡羊、牡牛、双子、蟹

獅子座、乙女座、天秤座

蝎、射手、山羊、瓶に魚

新刊紹介

理學博士 故一戸直藏氏著

通俗講義天文學 上巻

曩に吾人は本書の下巻を紹介したが、今又此處に久しく品切となつて居た上巻が第三版となつて發賣せられたのを機とし、本誌讀者に紹介しようと思ふ。先づ第一編總論の第一章には天文學の定義と分類、第二章には各種の座標と其の轉換法、第三章には天文用器械の第四章には觀測の修正、次に第二編太陽系の第五章地球、第六章時、第七章月の運動、第八章或星の運動、第九章食、第十章萬有引力第十一章太陽系細論、第十二章太陽と云ふ風に配列し、全編を通じて稀薄に記述せられ、入門者に取り絶好の指鍼となるであらう。通俗書の弊として概ね數式を省いてあるが此の書には「可なり其れを含み球面三角法の式も三個所に使用してある。唯審かしいのは太陽の直徑、質量、又地球と月の質量等が洩れて居る事で、其の他光行差、章動、歳差等の最も普通な術語を僅々數行に説明し去つてあるのは物足らなく感ずる。其れから挿入の圖版は九十五を數へ、其等が物々しく別圖として一枚の紙を占有する事なく、何れもつましく本文中に刷り込まれて居るのは嬉しく感ずる。譬ひ其の身は死すとも、斯く其の著述が後までも残つて後進者に裨益を與へる著者の亡靈に對し深く感謝の意を表する次第である。(東京市京橋區桶町大鐘閣發行、定價參圓五拾錢)